

社会課題解決型サービス

社会課題解決に向けた取り組みをさまざまな企業と連携して積極的に展開しています。

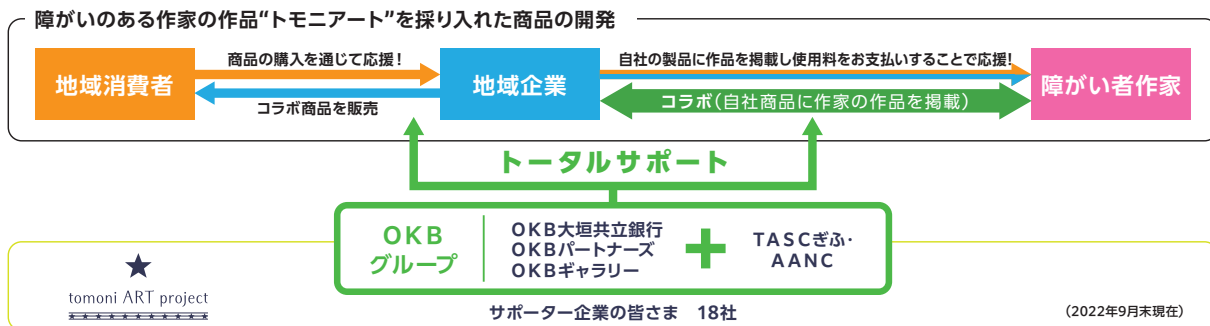


トモニアートプロジェクトが拡大!

岐阜県障がい者芸術文化支援センター（略称「TASCぎふ」）を運営する公益財団法人 岐阜県教育文化財団ならびに、あいちアール・ブリュットネットワークセンター（略称「AANC」）を運営する社会福祉法人 楽笑とともに推進している「トモニアートプロジェクト」が拡大しています。

本プロジェクトは、地域企業が持つ社会貢献ニーズのプラットフォームとなり、障がいのある作家と地域企業とのコラボレーションによる商品開発をトータルサポートするものです。趣旨に賛同いただいたサポーター企業の自社製品などに障がいのある作家の作品を採用することで、その作家に収益の一部を還元し、社会参加をサポートします。これまで、サポーター企業は18社、商品は“第5弾”まで誕生しています。

さまざまな商品・サービスを障がいのある作家の“作品発表の場”とすることで、“誰もがいきいきと活躍できる地域づくり”に貢献していきます。



トモニアートの活用で誕生した商品・サービス

第3弾 「抗菌マスクケース」



マスクケースのデザインに採用
(中北薬品 株式会社)

第1弾 「手と指のエタノール消毒液」



エタノール消毒液のボトルラベルなどに採用
(中北薬品 株式会社)

第4弾 「トモニ壁アート」



店舗施工現場の仮囲い壁などに採用
(株式会社 パールアイデア)

第2弾 「業務用サニークールド」



抗ウイルスコーティング剤「業務用サニークールド」のボトルラベルに採用
(株式会社 錦之堂インターナショナル)

第5弾 「しはるん」



新聞などを簡易にしはれる便利グッズのデザインに採用
(株式会社 リンクス)

健康口座に新プラン!!

少子高齢化や医療費負担増加などが社会問題となるなか、その解決に資する健康生活応援商品「健康口座」を昨年11月から全国金融機関初で取り扱っています。

「健康口座」は、将来の医療・介護費への備えやその決済を行う「専用口座」と健康に不安を感じたときなどに活用できる会員サービスがセットになっています。

今年10月には、お客さまからいただいたご要望を踏まえ、“来店不要”・“専用口座の作成不要”ですすでお持ちの総合口座で加入できる「liteプラン」と、同プランに貯蓄専用口座を備えた「lite+プラン」の2種類をラインアップに追加。これにより、お客さまのライフステージやニーズに合わせてプランを選択できるようになりました。

また、会員サービスにおける「医療費立替払い」の対象に介護施設の利用費も追加したことで、より利便性が高まりました。

提携先拡大中

金融機関や医療機関などの提携先が増えれば増えるほど付加価値が高まる本サービス。大垣市を中心に病院や薬局などで利用が可能です。

利便性を高めていくため、今後さらに提携先を拡大していきます。

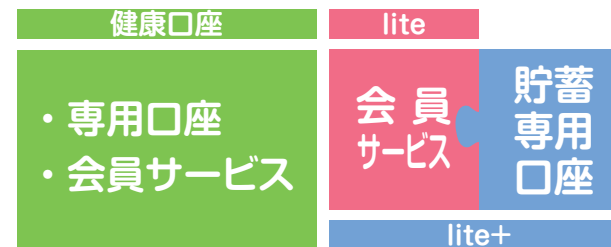
法人会員プランもあります!

法人のお客さまの「健康経営」をサポートし、従業員の方の福利厚生を充実させるため、今年4月、「健康口座」法人会員プランを新設しました。本プランは法人のお客さまと、「健康口座」会員サービスを提供するメディカルファイナンステクノロジーズ（以下「MFT社」）との間で契約するものです。会費を法人負担とすることで、より多くの従業員の「健康口座」加入を進めています。

●詳細は右記のQRコードよりご確認ください（通信費はお客さまのご負担となります）

●「健康口座」会員サービスはMFT社が提供するサービスであり、OKBのサービスではありません。ご利用（ご加入）にはMFT社への手続きが必要です

●QRコードは、株式会社 デンソーウェアの登録商標です



「健康口座」会員サービス

医療費立替払いサービス

キャッシュレス受診



診療後すぐに帰宅



院内滞在時間短縮



提携の医療機関・介護施設・薬局で利用できます

「健康口座」医療保険★

任意加入

★詳細は「健康口座」会員サービスのお申し込み後に確認できます。別途保険料が必要です

入院費用

差額ベッド代

先進医療費



保険金の請求手続き 不要!

医療費立替払いサービス利用の場合

健康管理アプリ

「健康口座」メディカルケアマネジメント

面倒な食事の記録不要!
体重・体脂肪率も時々測るだけでOK!



「健康口座」ナースコール

健康面で不安なとき専属看護師へ
電話1本で気軽に相談



地方創生の取り組み

地域活性化に貢献すべく、自治体や事業者をさまざまな角度からサポートしています。



自治体向けコンサルティングチーム

今年5月、地域課題解決のための自治体向けコンサルティングチーム「ローカル共 Co- プロジェクト」を発足させ、同日、協業実績のあるポニーキャニオン、スノーピークそれぞれと“地方創生推進にかかる協定”を締結しました。自治体が抱える問題は「人口減少」や「観光客の誘致力不足」などさまざまです。自治体に対して、OKBグループがこれまで培ってきたノウハウやネットワークを利用し、プロモーションやブランディング、DXなどの面からサポートします。

今年7月からは、岐阜県養老町における新規観光客の獲得や観光滞在時間の延長を狙い、同町とともに養老公園を拠点とした観光拠点整備プロジェクト「YOROラボ」を開始しました。ご当地グルメや体験型プログラムの開発などの実証実験をしていきます。



▲「ローカル共Co-プロジェクト」メンバー

地域のキャンプエリアのサポート

●海津市・羽根谷だんだん公園

今年7月、岐阜県海津市から「羽根谷だんだん公園」にキャンプエリアを設置する支援委託業務を受託しました。

海津市の交流人口の増加と賑わいのあるまちづくりに貢献するため、2023年のキャンプエリア設置に向けて実証実験や運営ルール・マニュアル策定のサポート、現地調査などを行っていきます。今年の夏にはテストキャンプを行い、キャンプ場としての課題を抽出したほか、夏祭りの際にはテントブースを出してキャンプエリアの設置をPRしました。



●池田町・大津谷公園キャンプ場

岐阜県池田町の「大津谷公園キャンプ場」は従来、観光振興拠点として無料で開設されていましたが、昨今のキャンプブームによる利用者の増加で、ごみや火の不始末など、マナーの悪化が問題となっていました。

OKBが2021年6月から約1年間、ヒマラヤと連携して、キャンプ場の有料化実証実験を行った結果、利用者のマナーが大幅に改善され、地域の方から高く評価いただくことができました。



地域商社機能

2019年5月から、地域商社機能を活用した取り組みを積極的に展開しています。地域事業者の販路開拓や新商品開発をサポートしながら、お客さまが持つブランド価値や付加価値を向上させ、地域の活性化につなげています。

今年6月には、温浴施設「竜泉寺の湯」を運営するオークランド観光開発と、ラムネ菓子「クッピーラムネ」を製造するカクダイ製菓の連携をサポートしました。

OKBでは両社の特性を生かして「竜泉寺の湯」と「クッピーラムネ」の付加価値の創造と新たな顧客層へのアプローチを目的に、“クッピーラムネかき氷”と両社のキャラクターを使用した“コラボアイテム”の商品化や「竜泉寺の湯」でのポップアップイベントなどをサポートしました。

なお、コラボアイテムは、セレクトショップを運営し、OKBと業務提携をしているビームスのディレクターズバンク*が監修しました。

名古屋発祥の両社の新たな価値の創造、認知度向上および地域の魅力発信に貢献したOKBならではの取り組みです。

*ビームスでビジネスプロデュース事業を担う部署



▲クッピーラムネを使用したかき氷



▲「竜泉寺の湯」と「クッピーラムネ」のキャラクターを使用したコラボアイテム

地域商社機能を活用した取り組み事例



▲オークランド観光開発が運営する「竜泉寺の湯」のオリジナルアイテム（ビームスのディレクターズバンク監修）



▲地域事業者とコラボした小島組のノベルティグッズ



▲鯉バスの特注トミカ

地域経済の活性化と持続的成長へ向けて

地域の持続的成長やSDGs達成に向けた取り組みをサポートする体制を強化しています。



損害保険ジャパンと「地域のサステナビリティ推進に関する包括連携協定」締結

今年4月、損害保険ジャパンと「地域のサステナビリティ推進に関する包括連携協定」を締結しました。

地域企業の持続的成長と地域活性化を図るべく、本協定に基づく取り組みとして、OKB社員向けの「SDGs研修」や、サイバーセキュリティを題材にしたお客さま向けのSDGsセミナーを開催しました。



▲(左から) 土屋常務、損害保険ジャパン 中西 貴志 執行役員

三井住友海上およびMS&ADインターリスク総研と「SDGsに関する包括連携協定」締結

今年6月、三井住友海上火災保険およびMS&ADインターリスク総研と「SDGsに関する包括連携協定」を締結しました。

両社の専門的な知見を活用しながら、取引先企業のSDGs推進をサポートするコンサルティング（OKB「SDGs評価」サービス）の実施や、地方自治体を取り組むSDGsの登録・認証制度の策定サポートなどに取り組んでいます。



▲(左から) 土屋常務、三井住友海上火災保険 赤木 匡 執行役員、MS&ADインターリスク総研 中村 光身 社長

泉大津市との「包括連携に関する協定」締結

OKB大垣共立銀行とOKBグループのOKB総研は今年6月、大阪府泉大津市と「包括連携に関する協定」を締結しました。同市は食を通じた市民の健康増進や有事の際の食糧確保の観点から農業に強みを持つ地域との連携を進めています。

OKBグループはこれまで、農林漁業者の「6次産業化」のサポートやOKB農場への運営参画など、地域のアグリビジネスの活性化に取り組んできました。本協定により、OKBグループがこれまで培ってきたノウハウやネットワークを活用しながら、広域連携におけるサプライチェーン構築や交流促進などにより両地域の活性化や交流人口の拡大を目指します。



▲(左から) 南出 賢一 泉大津市長、土屋常務、OKB総研 青木社長

DX推進に向けた取り組み

デジタル技術を活用した取り組みを進めています。



手のひらソリューション

OKBといえば“手のひらソリューション”。
手のひら静脈情報をご登録いただくことで、手のひらだけで銀行取引をご利用いただけます。

- 手のひらだけでATMが使える!
- 手のひらだけで口座開設ができる!
- 手のひらだけで窓口取引ができる!
- 災害時、手のひらだけで借入れができる! など



OKBアプリ

アプリを立ち上げるとOKBの口座残高や入出金明細が確認でき、「一生通帳 by Moneytree」と連携すればOKB以外の銀行残高やクレジットカードの明細なども確認できます。

2021年6月から取り扱いを開始しているパーソナルレコメンドサービス「LiFit」は、OKBが保有する取引データなどを使って、AI(人工知能)がお客さま一人ひとりに合った“お金の向き合い方”を提案し、お客さまのより豊かな生活づくりをサポートします。



未来のIT人材の育成をサポート!

今年8月、地域の将来を担うIT人材の育成を目的に、岐阜市に本社を置くIT企業と共同で小学生向け「プログラミング教室」を開催しました。会場となったのはDXコンサルティング拠点としての機能を併せ持つOKBコミュニティプラザ本山（OKB本山支店2階）です。

講義ではプログラマーの仕事内容や働き方などを紹介し、家庭用ゲーム機を用いたプログラミング体験も行いました。

本拠点では今後もセミナーや相談会などの開催を通して地域のDX推進に貢献していきます。



▲講義の様子